

ロジックモデルを活用した第3期市民参加推進計画の進ちょく管理の方法について

長期
アウトカム

目指す未来像
参加と協働により、豊かで活力のある地域社会の実現

目指す地域社会の姿
京都に関わるあらゆる主体が、まちづくりにおけるそれぞれの役割を積極的に果たすとともに、相互に信頼し、対等の立場で知恵と力を出し合い、これまでの役割の範囲を超えて連携し、支え合い、挑戦している。包摂的で持続可能な協働のまちづくりや、地域コミュニティの活性化が進み、その成果をみんなで共有し、実感している。

第3期市民参加推進計画の進ちょく管理

- ロジックモデルの手法を用いて、各施策を推進した結果が「目指す未来像」「目指す地域社会の姿」の実現へと向かっているかを確認。各事業（活動）について、その取組成果を短期アウトカムから長期アウトカムまでの一連の流れの中で評価・分析する。
- 施策を構成する事業（活動）とその結果（アウトプット）、施策に関する短期アウトカムを確認し、事業の方向性やその実施状況を分析することで施策の進ちょく状況を測る。
- 重視する視点を構成する施策の進ちょくを分析することで重視する視点の指標や市民参加推進力の向上が図られているかを確認

中期
アウトカム

市民参加推進力の向上
3つの重視する視点（共感力、育感力、解決力）を向上させることで市民参加推進力が向上

まちの課題共感力（仮称）
重視する視点1：「学び」や「信頼」をはぐくむ対話の推進
(中期アウトカム)
「学び」や「信頼」をはぐくむ対話の推進に関連するアウトカム指標を設定予定

重視する視点ごとに対応した指標を置く。指標は京都市基本計画の進ちょくを図る政策評価制度の市民生活実感調査を活用する。

市民参加推進力とは
市民参加推進力は、市民参加における参加と協働を進める力で、市民参加推進計画の「重視する視点」と13の「施策」を進めることで市民参加推進力の向上を図るもの。

各施策から導き出された短期アウトカム（数値指標）を向上させることで3つの力（重視する視点）も向上

事業
活動
及び
結果

施策2 信頼や学びにつながる「市民と職員との対話」の推進
【例】目指す状態「信頼が基盤にある対話が活発に行われている」
(推進例ごとの事業及びその結果)

(1) 政策や方針等の検討段階早期での市民意見の聴取
計画策定過程におけるパブリックコメントの実施 パブリックコメントの実施数〇〇回

(2) 職員ファシリテーターの育成と対話の場の拡充
市民協働ファシリテーター養成研修 ファシリテーター養成者数〇〇人

(3) 市民が活動する場への市職員の参加の推進
職員による大学への出張講義 出張講義数〇〇回

(4) 未来志向の対話の推進
地域学習会「しまつのこころ楽考（がっこう）」 実施回数〇〇回

(短期アウトカム)
市民意見の聴取や市民との対話の機会の増加、地域等への市職員の参加などに対応するアウトカム指標を設定予定

施策ごとに施策を推進する事業（活動）とその結果（アウトプット）、施策の成果を図る短期アウトカム（数値指標）を記載。数値指標は政策評価制度の客観指標を活用。事業内容及び事業の実施結果が施策で目指す方向性と整合が取れているか、寄与しているか、を確認

施策	施策
3 共創のため	5 誰もが参加しやすいデザイン
の「多様な主体の対話」の推進	

まちの育感力（仮称）
重視する視点2
次世代につながる市民参加の裾野の拡大

まちの課題解決力（仮称）
重視する視点3
協働による課題解決への挑戦

施策	施策	施策	施策	施策
1 到達を重視する情報発信	7 次世代につながる市政参加	9 まちづくりに取り組みかけづくり	1 地域コミュニティ活性化への支援	2 持続可能なまちづくりを支援する仕組み

施策	施策	施策	施策	施策
4 市政参加の機会の充実	6 協働の成果や手ごたえの共有	8 協働する市政分野の拡大と新たな挑戦	0 SDGsを背景とした多様な主体の参画促進	3 多様な主体の協働による社会課題解決への挑戦